

様式 4

補助金・交付金チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	指定建造物等維持管理費補助金	開始 年 度	平成5年度
----------------	----------------	-----------	-------

団 体 名	
-------	--

助成の根拠既定等 (条例・規則・要綱等)	函館市都市景観条例, 函館市西部地区歴史的町並み基金の設置および管理に関する条例, 函館市西部地区歴史的町並み基金の設置および管理に関する条例施行規則, 函館市補助金等交付規則, 函館市景観形成指定建築物等および伝統的建造物の維持管理費に係る補助金交付要綱
-------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	指定建造物等（景観形成指定建築物等および伝統的建造物）の日常的な管理，小破修理等に対応し適正に維持管理するための経費として，毎年一定額の補助を行う。
目 的	(目 的) 都市景観形成地域の歴史的町並み景観を構成している歴史的な建築物である「指定建造物等」は市民共有の財産であり，本補助は指定建造物等を保全していくために設置した「西部地区歴史的町並み基金」を財源としているものである。指定建造物等は，築後100年近く経過し，老朽化が進行しており，小破修繕など日常的な管理が不可欠である。また，通常の建物よりその維持・管理に経費がかかるため，適正に維持・管理してもらうためにも一定の補助が必要である。
・ 効 果	(効 果) 補助を行うことで指定建造物等が適正に維持・管理され歴史的町並み景観が保全されている。さらに，所有者が自ら所有する建物は「市民共有の財産」であるとの自覚を持つことになり，指定建造物等がより一層保全されることとなる。

○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	計
		市	その他				
収 入	23 (決算)	5,880					5,880
	24 (決算)	6,020					6,020
	25 (決算)	6,020					6,020
	26 (決算)	6,090					6,090
	27 (決算)	6,020					6,020
	支 出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	
23 (決算)				5,880			5,880
24 (決算)				6,020			6,020
25 (決算)				6,020			6,020
26 (決算)				6,090			6,090
27 (決算)				6,020			6,020

様式 4

補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	指定建造物等維持管理費補助金
----------------	----------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	都市景観形成地域の歴史的町並み景観を構成している歴史的な建築物である「指定建造物等」は市民共有の財産であり、本補助は指定建造物等を保全していくために設置した「西部地区歴史的町並み基金」を財源としているものであり、基金を設置したこと自体が公益性を示している。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	指定建造物等は、築後100年近く経過し、老朽化が進行しており、小破修繕など日常的な管理が不可欠である。また、通常の建物よりその維持・管理に経費がかかるため、適正に維持・管理してもらうためにも一定の補助が必要である。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

補助金・交付金チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	指定建造物等維持管理費補助金
----------------	----------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等) 指定建造物等の所有者に対して, 建物を維持管理するための経費として年間70千円の補助事業を行っており, 現存する指定建造物等110件(市所有のものを除く)を全て保全・保存しておくことを目標としている。
(達成状況) ・平成25年度実績 補助件数: 71名 補助金交付額総額: 6,020千円 ・平成26年度実績 補助件数: 72名 補助金交付額総額: 6,090千円

※継続事業は, 直近の実績 新規事業は, 効果のみ記載してください。



(評価) 十分効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	(理由) 補助を行うことで指定建造物等が適正に維持・管理され歴史的町並み景観が保全されている。さらに, 所有者が自ら所有する建物は「市民共有の財産」であるとの自覚を持つことになり, 指定建造物等がより一層保全されることとなる。
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続 <input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> その他	(見直しの内容) 歴史的町並み景観を保全し維持していくためには, その重要な構成要素である指定建造物等の維持・保全が不可欠であり, それも, 住み続けながら残されていくことが重要である。指定建造物等が市民共有の財産であると位置づけている以上, 所有者にすべての責任を負わせることなく, 都市景観条例, 西部地区歴史的町並み基金条例に基づき, 現在の補助を継続していかなければならない。 (見直しの時期)
(廃止の理由) (廃止の時期)	(その他の内容)

○終期の設定

終期設定 平成 年度	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止 <input type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	次回チェック年度(予定) 平成 年度
--------------------------	--------------------------------------------------------------------------	----------------------------------